



2025年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年10月23日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 CEO (氏名) ジョン・キム

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 白井 康平

TEL 03-3449-0331

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	25,853	11.7	3,052	13.4	3,096	15.7	1,988	16.6
2024年12月期第3四半期	23,138	23.0	2,692	39.0	2,676	35.4	1,705	33.1

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 1,959百万円 (15.2%) 2024年12月期第3四半期 1,700百万円 (18.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	206.34	
2024年12月期第3四半期	177.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	29,233	15,064	51.5
2024年12月期	26,314	13,634	51.8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 15,064百万円 2024年12月期 13,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		20.00		30.00	50.00
2025年12月期		25.00			
2025年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,860	7.1	2,430	2.8	2,460	3.0	1,550	0.5	160.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期3Q	9,644,554 株	2024年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2025年12月期3Q	8,717 株	2024年12月期	8,717 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期3Q	9,635,837 株	2024年12月期3Q	9,635,837 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。当社は当第3四半期決算短信提出後速やかに当社ホームページに四半期決算説明補足資料を公開する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年1月～9月）における日本国内の経済環境は、訪日外国人数が前年同期比20%を超えて伸長し、通年で10兆円規模にも達する見込みのインバウンド市場が日本経済に影響を与えています。一方、消費者物価指数が高止まりして実質賃金のプラス転換は依然として見通せず、為替の動向も依然として不透明であり、消費者は必要な商品を選別して購入する傾向がより強まっております。

このような環境のもと、当社グループは「“We make people happy.”～アイスクリームを通じて、人々に幸せをお届けします。～」を企業理念に、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンを目指すとともに、企業の継続的成長に努めています。

また、当連結会計年度は、当社グループの長期経営計画（ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大）の5期目にあたります。その中で当第3四半期連結累計期間では、以下のように一昨年、昨年と更新した過去最高売上を更に上回る成長を記録しました。

- ・当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高が258億53百万円と過去最高を更新。
- ・当第3四半期連結累計期間の国内総小売売上高が522億13百万円と過去最高を更新。
- ・一店舗当たりの小売売上高が49百万円と過去最高を更新。
- ・第3四半期過去最高の税引前利益30億73百万円を達成。

お客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理を徹底し、当社グループの長期経営計画（ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大）を推進、これまでに成功した施策は継続・強化し、更に新たな施策を実行してまいります。

<ブランドパワー強化>

ブランドパワー強化としてお客様のデマンドに合わせたマーケティングを展開。選ぶ楽しさ、またお気に入りの味との出会いを提供する新作フレーバーやニュースの発信、親子で楽しめるコラボレーションや商品の開発を強化しました。

人気ゲーム「マインクラフト」との初コラボレーションによる四角だけのアイスクリームケーキ、お客様から高い評価を受けている「スーパーマリオ」「ポケモン」とのコラボレーションを通じて、多くのお子様には笑顔をお届けしました。さらに、不二家の人気キャラクター「ペコちゃん」との初のコラボレーション実現にも成功しました。

新店舗デザインでは「F1 (Flavor1st)」、「MOMENTS」の導入による店舗イメージの刷新を進めるため、77店舗で全面改装を完了し、新店舗を含む新デザイン導入店舗数を903店舗に拡大しました。

<デジタル化>

コミュニケーションツールの会員制アプリ「31Club」の会員数が、1,000万人を超えました。会員の購入額は売上全体の42.5%を占めています。また、予約受付も可能なモバイルオーダーを推進することで、お客様の利便性及び店舗生産性向上に努めています。デジタルサイネージ導入をはじめとする、デジタル技術を活用した店舗オペレーションの簡素化にも一層の取り組みを進めます。

<スマート31>

スマート31施策として、サプライチェーン・マネジメントの最適化で昨今のコスト上昇を抑制しています。当社の組織に関しては、引き続きリモートによる就業、従業員福利厚生 の 拡 充 な ど 働 き 方 改 革 に よ る 最 適 化 を 推 進 して います。また、オフィスや生産工場、そして店舗でも、エネルギーの効率的な使用に努めております。また、2工場における食品残渣の削減、電気使用量の削減も図っております。

<販売拠点拡大>

店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、お客様のデマンドに沿って、ロードサイド、

ビジネス街、駅前、繁華街など、様々な立地での展開を実施しています。その結果、当第3四半期末国内店舗数は1,063店舗と前年同期末に比べ40店舗の純増となっています。また、大学や会社の食堂、行楽地、サービスエリアや空港・駅への出店など、お客様の購入機会を増やすよう積極的に取り組んだ結果、当第3四半期末の国内ポーションカップ販売等拠点（通常店舗と異なる販売拠点）数は432ヶ所、更に台湾・ハワイで当社が運営する海外店舗数は45店舗となります。これにより、国内外合わせて当第3四半期末の当社総販売拠点数は1,540ヶ所と前年同期末と比べ100ヶ所の増加となっています。

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、小売売上高の伸長に牽引され、過去最高の258億53百万円（前年同期比111.7%）となりました。小売売上高も長期経営計画の4本の柱を中心に、お客様から高い人気を誇るキャラクターとのコラボレーションの実現やデマンド戦略に沿ったプロモーションの実施により、過去最高を記録しました。

売上原価は125億80百万円（前年同期比110.4%）となりました。原料費の高騰並びに円安の影響に伴う売上原価の増加がありましたが、サプライヤーと協働して品質を保ちつつ原料調達コストを抑制したことと、工場での製造管理の最適化や生産スピード向上による製造原価低減を進めたことにより、売上の伸長に比べて売上原価の抑制が図られており、売上総利益は132億73百万円（前年同期比113.1%）となりました。

小売売上高及び当社の卸売上高を伸ばすために、新作フレーバーの告知強化、積極的なデジタル広告の出稿、モバイルオーダーの活用促進、販売拠点の拡大などの施策に活動費を積極的に投じました。その結果、売上高は増加し、出荷増に伴う物流費の増加等もあり、販売費及び一般管理費については前年同期間と比べて11億72百万円増加の102億20百万円となりましたが、営業利益率は前年同期と同水準を維持しております。

以上の結果、営業利益は30億52百万円（前年同期比113.4%）となりました。これは、外的要因とビジネス成長に伴うコスト上昇を加味した通期連結業績予想の当第3四半期連結累計期間目標を上回るものです。

また、経常利益は30億96百万円（前年同期比115.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億88百万円（前年同期比116.6%）となりました。

なお、当社グループはアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ29億18百万円増加の292億33百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が19億58百万円及び未収入金が16億8百万円増加しましたが、売掛金が16億28百万円減少したことによるものであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ14億88百万円増加の141億68百万円となりました。これは主に、契約負債が3億97百万円及び預り金3億57百万円の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ14億29百万円増加の150億64百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が19億88百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月10日に公表いたしました「2024年12月期決算短信(連結)」の業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,033,572	8,387,434
売掛金	2,804,593	1,176,151
製品	1,533,555	1,725,233
原材料	682,046	820,594
貯蔵品	616,263	492,632
前払費用	432,624	543,405
未収入金	268,305	1,877,202
未収消費税等	17,265	190,715
その他	160,060	79,058
流動資産合計	14,548,287	15,292,427
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,264,897	4,306,372
減価償却累計額	△2,562,722	△2,677,925
建物（純額）	1,702,174	1,628,446
構築物	444,950	444,950
減価償却累計額	△323,802	△336,187
構築物（純額）	121,148	108,763
機械及び装置	4,509,726	4,132,819
減価償却累計額	△3,872,236	△3,554,136
機械及び装置（純額）	637,489	578,682
賃貸店舗用設備	4,368,771	4,219,939
減価償却累計額	△2,252,334	△2,185,758
賃貸店舗用設備（純額）	2,116,436	2,034,180
直営店舗用設備	1,346,754	1,779,512
減価償却累計額	△251,849	△352,115
直営店舗用設備（純額）	1,094,905	1,427,396
車両運搬具	94,049	104,725
減価償却累計額	△43,394	△53,226
車両運搬具（純額）	50,655	51,499
工具、器具及び備品	750,475	729,676
減価償却累計額	△662,687	△658,349
工具、器具及び備品（純額）	87,788	71,326
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	1,626,539	3,585,053
有形固定資産合計	8,132,499	10,180,712
無形固定資産		
のれん	208,375	182,692
その他	509,611	485,248
無形固定資産合計	717,987	667,940

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
投資その他の資産		
破産更生債権等	583	493
長期前払費用	190,215	241,361
繰延税金資産	206,490	197,820
敷金及び保証金	2,363,933	2,449,021
その他	155,090	203,497
貸倒引当金	△291	△246
投資その他の資産合計	2,916,022	3,091,947
固定資産合計	11,766,509	13,940,600
資産合計	26,314,796	29,233,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	837,975	903,626
1年内返済予定の長期借入金	430,016	343,264
未払金	4,292,380	4,663,785
未払法人税等	528,193	762,214
契約負債	2,075,621	2,472,645
預り金	256,107	613,354
賞与引当金	67,910	171,458
役員賞与引当金	88,300	126,300
資産除去債務	2,956	—
その他	133,550	90,695
流動負債合計	8,713,011	10,147,343
固定負債		
長期借入金	2,034,053	1,798,293
退職給付に係る負債	81,249	90,765
役員退職慰労引当金	63,400	77,854
資産除去債務	194,099	216,680
長期預り保証金	1,551,847	1,798,135
繰延税金負債	42,201	39,719
固定負債合計	3,966,850	4,021,447
負債合計	12,679,862	14,168,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金	241,079	241,079
利益剰余金	12,413,299	13,871,599
自己株式	△17,519	△17,519
株主資本合計	13,372,145	14,830,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,923	35,137
繰延ヘッジ損益	12,055	2,977
為替換算調整勘定	242,810	195,676
その他の包括利益累計額合計	262,788	233,792
純資産合計	13,634,934	15,064,237
負債純資産合計	26,314,796	29,233,028

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	23,138,879	25,853,609
売上原価	11,398,499	12,580,550
売上総利益	11,740,379	13,273,058
販売費及び一般管理費	9,047,896	10,220,832
営業利益	2,692,483	3,052,226
営業外収益		
受取利息	81	539
受取ロイヤリティー	22,283	59,956
受取報奨金	3,959	27,073
その他	2,860	18,488
営業外収益合計	29,184	106,058
営業外費用		
支払利息	6,140	16,103
為替差損	16,844	23,170
店舗設備除去損	22,296	19,741
その他	335	2,833
営業外費用合計	45,616	61,848
経常利益	2,676,052	3,096,435
特別利益		
固定資産売却益	14,117	12,864
特別利益合計	14,117	12,864
特別損失		
固定資産廃棄損	63,075	35,707
特別損失合計	63,075	35,707
税金等調整前四半期純利益	2,627,094	3,073,593
法人税等	921,429	1,085,322
四半期純利益	1,705,664	1,988,270
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,705,664	1,988,270
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,843	27,214
繰延ヘッジ損益	△15,109	△9,077
為替換算調整勘定	4,718	△47,133
その他の包括利益合計	△5,547	△28,996
四半期包括利益	1,700,116	1,959,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,700,116	1,959,273
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間における減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	880,885千円	893,354千円
のれんの償却額	13,809	14,404